

# 中国四国教育学会

## 第69回大会プログラム

2017年11月25日(土)・26日(日)

広島女学院大学



### <目次>

大会参加要領	1
大会日程	2
交通のご案内	3
広島女学院大学キャンパスマップ	5
広島女学院大学発表会場等配置図	6
自由研究発表(第一日)	7
公開シンポジウム	22
自由研究発表(第二日)	23
ラウンドテーブル	37

# 大会参加要領

## 1. 会場案内

本プログラム3頁以降に、交通のご案内、広島女学院大学建物配置図、発表会場等配置図を掲載しております。

## 2. 受付

受付開始時間 8:30 (大会第一日) 9:00 (大会第二日)  
受付場所 広島女学院大学 人文館1階ロビー ※懇親会受付も同様  
大会参加費 正会員:2,000円 (学生会員:1,000円) 臨時(当日)会員:1,000円  
懇親会参加費 4,500円 (学生会員:3,000円)  
懇親会会場 広島ガーデンパレス (会場にて直接受付可)

## 3. 発表要領

- ・自由研究発表 個人研究:発表15分、質疑5分  
共同研究:発表30分、質疑10分  
(ただし、発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。)
- ・総括討議が設定された部会では、部会の最後に20分程度行います。発表者は必ず参加してください。
- ・自由研究発表における共同研究者の氏名は、原則、「発表申込用紙」に記入された順序に従っています。また、○印は口頭発表者です。
- ・発表者は、レジュメを30~40部程度ご用意いただき、当日ご持参ください。万一不足しても、大会本部ではコピー等いたしかねますのでご了承ください。
- ・液晶プロジェクタを用いて発表される方は、各発表会場の開始20分前までに会場にお越しいただき、機器の調整・テストを行ってください。
- ・発表の際、液晶プロジェクタを用いてコンピュータ画面を映写される方は、ノートパソコン (Windows搭載) と電子媒体 (USBメモリ) に記憶させたデータをご持参ください。
- ・発表題目は、大会プログラムに記載されているものと同じものを用いてください。
- ・発表取り消しがあつた時間帯は、ミニ総括もしくは休憩時間に充てられますのでご了承ください。

## 4. その他

- ・本プログラムは大会当日必ずご持参ください。
- ・学内の食堂・売店は、土・日曜日には営業していません。会場周辺にも飲食店が少ないため、お弁当 (お茶付・1,000円) の予約を受け付けております。2017年10月31日(火)までに、氏名、所属、希望日【25日(土)/26日(日)】、弁当の個数、当日の連絡先を明記の上、下記アドレスまでメールにてお申込みください。  
【chushi@gaines.hju.ac.jp】
- ・大会当日、名札を付けた大会実行委員会スタッフが会場のご案内をいたします。ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。
- ・やむをえず発表を取り消される場合は、速やかに大会実行委員会までご連絡ください。  
【連絡先:中村 勝美 (082-555-8557) chushi@gaines.hju.ac.jp (実行委員会共通)】
- ・その他ご不明な点がございましたら、学会事務局までお問い合わせ願います。

## 5. 大会実行委員会および学会事務局連絡先

### 大会実行委員会

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1 広島女学院大学  
委員長:松浦 正博 副委員長:中村 勝美  
委員:神野 正喜・大橋 隆広・戸田 浩暢・森保 尚美  
※代表連絡先 … 中村 勝美 (082-555-8557) chushi@gaines.hju.ac.jp (実行委員会共通)

### 学会事務局

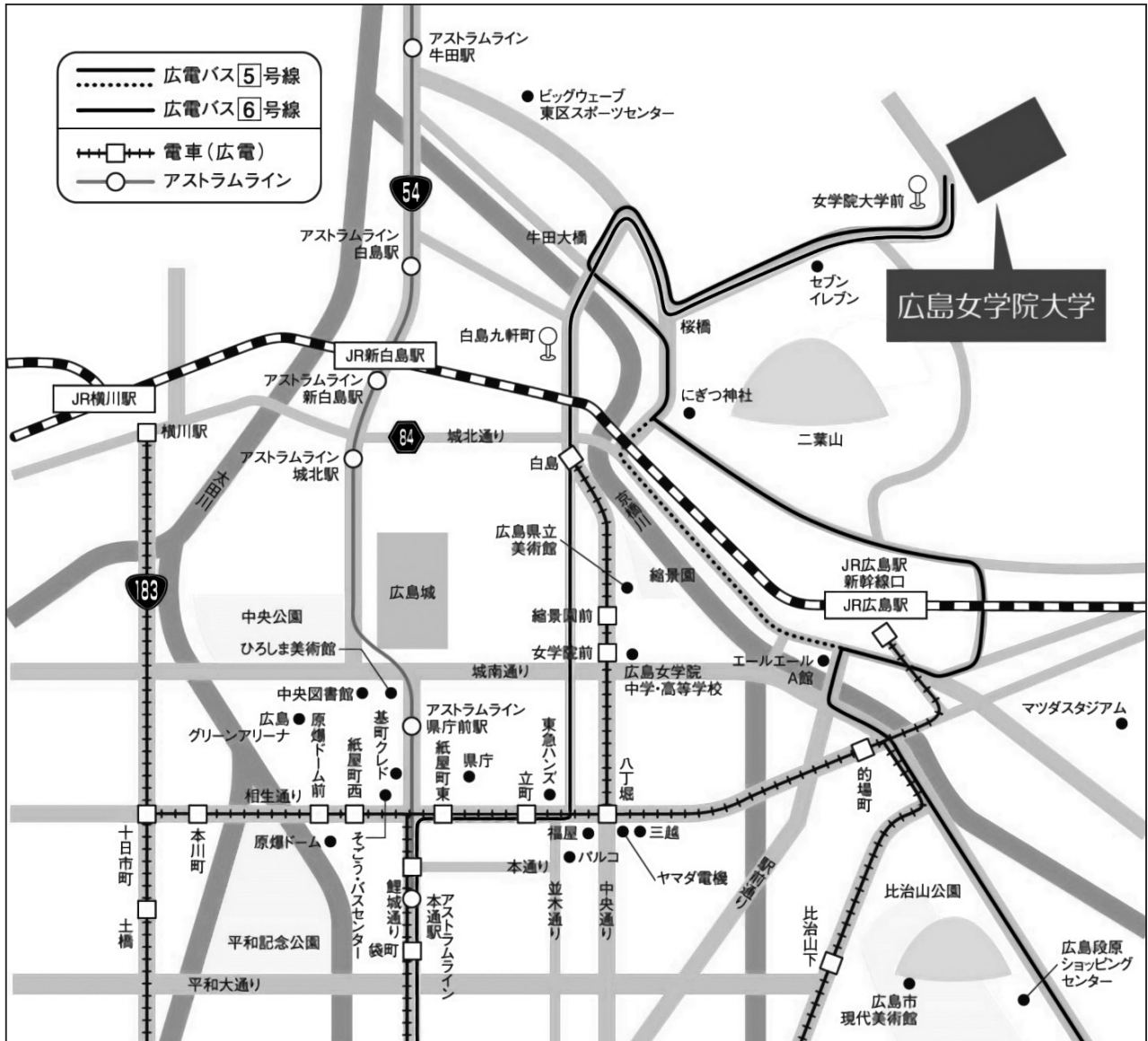
〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科教育学講座内  
事務局長:鈴木 理恵  
事務局幹事:班 婷・張 磊  
※連絡先:班 婷 (082-424-6734) cssse@hiroshima-u.ac.jp (事務局共通)

# 大会日程

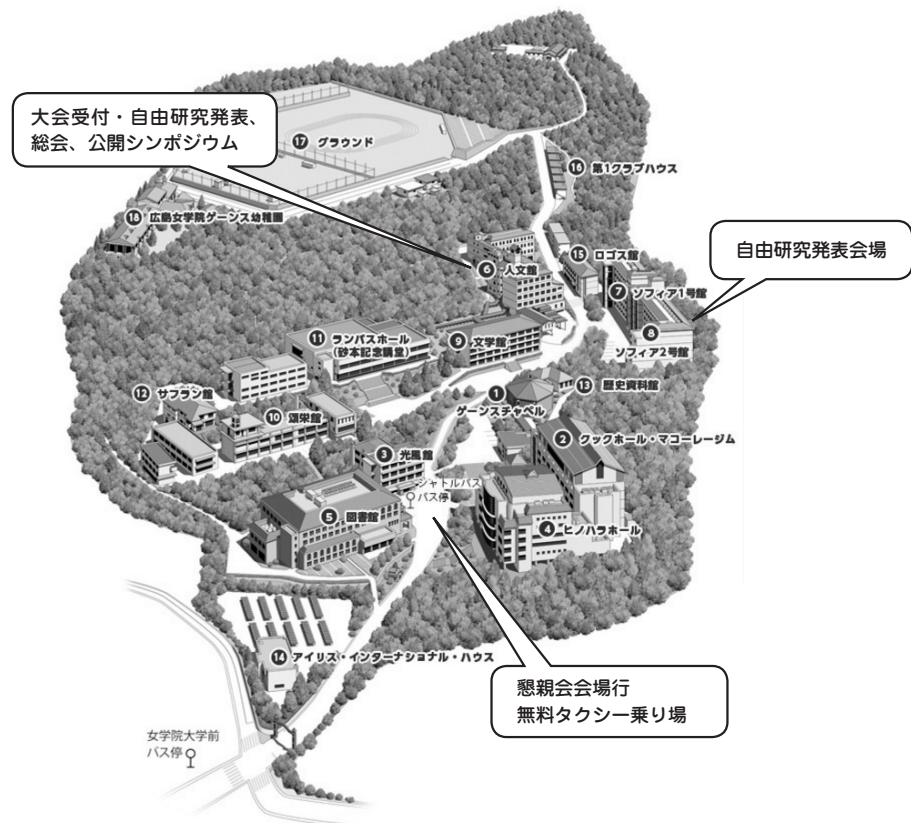
第一日 11月25日 (土)		第二日 11月26日 (日)	
8:30～	受付 (人文館1階ロビー)	9:00～	受付 (人文館1階ロビー)
9:30～	自由研究発表	9:30～	自由研究発表
	頁		頁
幼児教育Ⅰ 部会	7	幼児教育Ⅱ 部会	23
家庭・幼児教育 部会	8	高等教育 部会	26
教科教育Ⅰ 部会	9	日本教育史Ⅱ 部会	28
教育の思想 部会	11	教育方法Ⅱ 部会	29
日本教育史Ⅰ 部会	12	教師教育Ⅱ 部会	32
教育方法Ⅰ 部会	13	道德教育 部会	33
生徒指導 部会	14	音楽教育Ⅱ 部会	34
学校経営Ⅰ 部会	15	教育と社会 部会	35
教師教育Ⅰ 部会	16		
世界の音楽教育 部会	17		
音楽教育Ⅰ 部会	18		
教師 部会	19		
初等教育 部会	20		
中国の教育 部会	21		
9:50～		9:50～	
英語科教育 部会	10	西洋の教育 部会	24
		教科教育Ⅱ 部会	25
		東洋教育史 部会	27
		社会科教育 部会	30
		学校経営Ⅱ 部会	31
		比較国際教育 部会	36
～12:00 (一部の部会は12:20)		～12:00 (一部の部会は12:20)	
12:00	昼食・各種打合せ	12:00	昼食・各種打合せ
～13:30		～13:30	
13:30	公開シンポジウム	13:30	ラウンドテーブル〔1〕(ソ101)
～16:30	(人文館302教室)	～15:30	ラウンドテーブル〔2〕(ソ102)
	22		ラウンドテーブル〔3〕(ソ103)
			ラウンドテーブル〔4〕(ソ104)
16:40	総会		
～17:30	(人文館302教室)		
18:00	懇親会		
～20:00	(広島ガーデンパレス)		



# 広島女学院大学キャンパス周辺図



# 広島女学院大学キャンパスマップ



- 大会受付：人文館 1 階ロビー
- 総会・シンポジウム会場：人文館302教室
- ラウンドテーブル会場：ソフィア 2 号館101～104教室
- 自由研究発表会場：人文館・ソフィア 2 号館
- 学会事務局室：文学館第 2 会議室
- 大会実行委員会室：文学館 1 F 教職課程研究室
- 会員控室：人文館502教室

## ご 案 内

### 【第一日目(11月25日)】

#### ❖ 公開シンポジウム

13:30より、人文館302教室にて公開シンポジウムを開催いたします。多数のご参加をお願いいたします。

#### ❖ 総 会

16:40より、人文館302教室にて総会を開催いたします。ぜひご出席ください。

#### ❖ 懇親会

18:00より、広島ガーデンパレスにて懇親会が開かれます。相互交流の場として、どうぞご参加ください。参加費は、4,500円(学生会員は3,000円)となっております。

17:40より、光風館前から「懇親会会場行無料タクシー」が運行します。懇親会申込者は、大会受付にてお渡しするタクシー利用整理券をご利用下さい。

### 【第二日目(11月26日)】

#### ❖ ラウンドテーブル

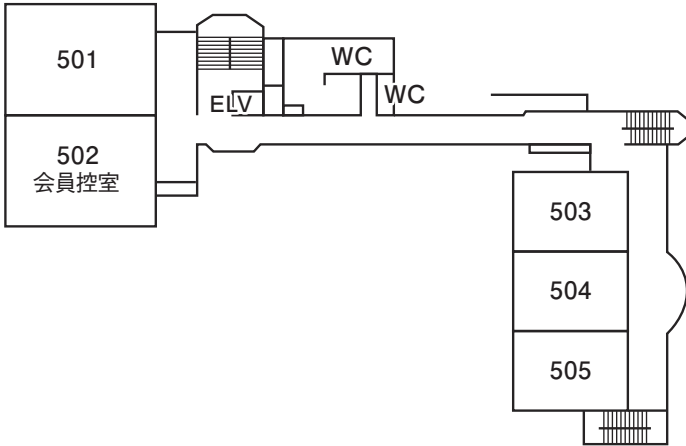
13:30より、ソフィア 2 号館101～104教室にてラウンドテーブルを開催いたします。多くの皆様に議論に参加いただきたいと存じます。

★ 大学構内は全面禁煙となっておりますので、ご注意ください。

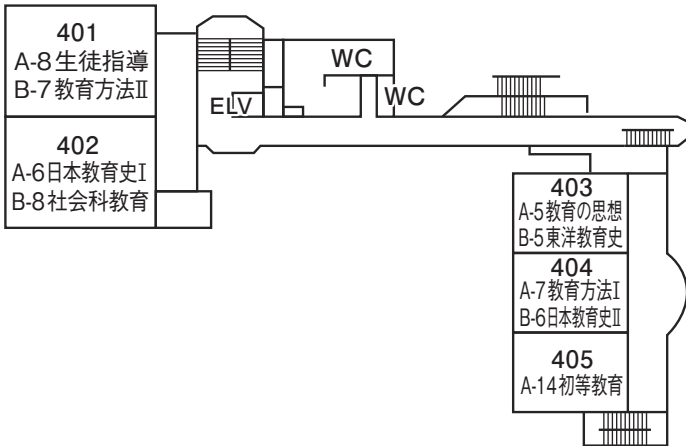
# 広島女学院大学発表会場等配置図

## 人文館

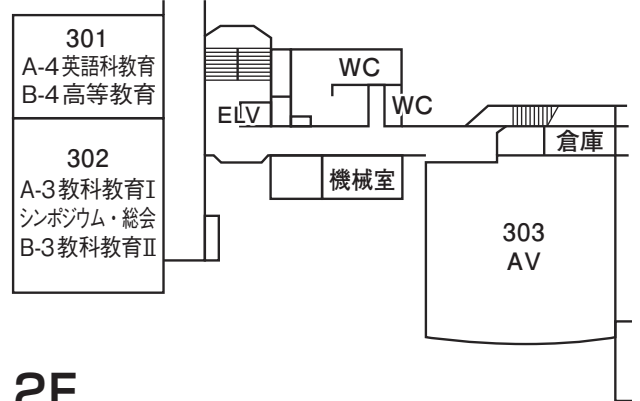
### 5F



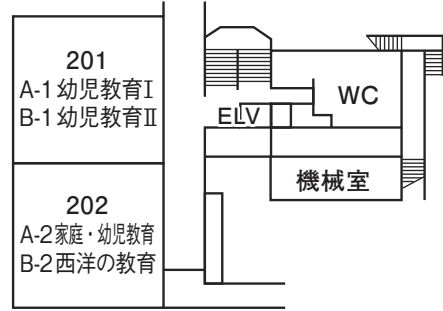
### 4F



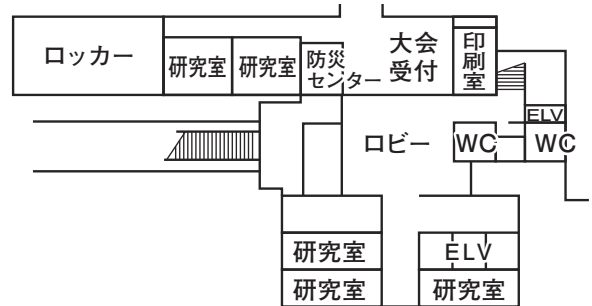
### 3F



### 2F

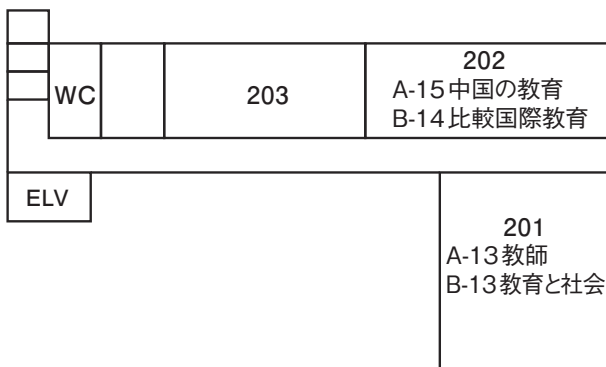


### 1F

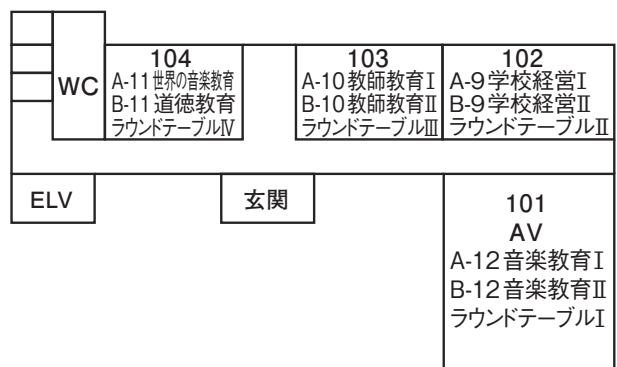


## ソフィア2号館

### 2F



### 1F



# 大会 第一日



## A-1「幼児教育Ⅰ」部会

会場：人201教室 9：30～12：20

司会：中坪 史典  
(広島大学)

- ① 9:30 幼児の音のこだわりに関する一考察  
前田 智哉  
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 保育現場の課題に応えるカンファレンスの研究(2)  
○池田 隆英  
(岡山県立大学)  
○楠本 恭之  
(比治山大学短期大学部)  
岡田 典子  
(山陽学園短期大学)
- ③ 10:30 5歳児クラスの自己抑制に関する検討  
井上 裕美子  
(弘前大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 徳島における昭和の子どもの生活に関する一考察  
—遊山箱をめぐるインタビューの分析を通して—  
林 里香  
(鳴門教育大学大学院・院生)
- ⑤ 11:20 乳幼児の言語獲得における言語の「道具」性に関する  
一考察  
—ブルーナーの議論を手掛かりに—  
相馬 宗胤  
(高松短期大学)
- ⑥ 11:40 保育の社会化と幼児教育方法の課題  
深澤 悦子  
(広島都市学園大学)
- 12:00 【総括討議】

## A-2「家庭・幼児教育」部会

会場：人202教室 9：30～12：20

司会：武内 裕明  
(弘前大学)

- ① 9:30 中国における親世代と祖父母世代の養育態度に関する研究  
—日本との比較を通して— 周 心慧  
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 若松幼稚園の保育内容の研究  
—海老名リンの実践を中心に(Ⅱ)— 渡辺 一弘  
(会津大学短期大学部)
- ③ 10:10 幼児の模倣と創造性  
—年中児の観察からの考察— 加藤 緑  
(弘前大学大学院・院生)
- ④ 10:30 戦後教育改革期における「全国モデル幼稚園協議会」  
の結成と初期の活動 小尾 麻希子  
(武庫川女子大学)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 子育てと地域 森 依子  
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 学齢期の子どもとその家庭を支えるネットワークに関する一考察 藤井 瞳  
(広島大学大学院・院生)
- ⑦ 11:40 子育て支援における次世代育成の可能性についての一考察 富田 雅子  
(広島大学大学院・院生)
- 12:00 【総括討議】

## A-3 「教科教育 I」部会

会場：人302教室 9：30～12：20

司会：木下 博義  
(広島大学)

- ① 9:30 岡山市立豊小学校における神尾一郎教諭の「ふしづくりの教育」の実践
- 吉富 功修  
(広島大学名誉教授)  
三村 真弓  
(広島大学)
- ② 9:50 NYCグループプリントにおけるダンスリテラシー—5th Grade (8歳から11歳まで) の教授・習得内容—
- 菅尾 尚代  
(広島修道大学)
- ③ 10:10 図画工作への印象記述から見た苦手意識の分析
- 柏原 寛  
(中国学園大学)
- ④ 10:30 STEM教育に関わる研究の動向と今後の課題
- 三好 美織  
(広島大学)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 小中接続カリキュラムの充実にむけた教員の乗り入れ授業に関する研究—音楽科と体育科の実践を通して—
- 長澤 希  
(広島大学附属三原小学校)  
○ 富岡 宏健  
(広島大学附属三原小学校)
- ⑥ 11:40 音楽的感覚・音楽能力を育成する音楽遊びに関する研究
- 三村 真弓  
(広島大学)  
吉富 功修  
(広島大学名誉教授)  
長澤 希  
(広島大学附属三原小学校)
- 12:00 【総括討議】

## A-4「英語科教育」部会

会場：人301教室 9：50～12：00

司会：深澤 清治  
(広島大学)

- ① 9:50 小学校英語の文法学習一指導法  
大庭 茂美  
(九州女子短期大学名誉教授)
- ② 10:10 推論的英問に対する解答作成力とテキストの首尾一貫性の関係  
浅井 智雄  
(広島県立廿日市西高等学校)
- ③ 10:30 CLILを通じたの試み④  
—ICE モデルを適用したsoft CLILの実践—  
中舂 俊宏  
(広島県立国泰寺高校)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 学習者の解釈を促す英語教育  
—ポストモダン絵本 *THE RED TREE* を用いて—  
清水 奈美  
(広島大学大学院・院生)
- ⑤ 11:20 英日訳を通して英語学習者が行う解釈に関する研究  
水島 祐人  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

## A-5 「教育の思想」部会

会場：人403教室 9：30～12：20

司会：櫻井 佳樹  
(香川大学)

- ① 9:30 未来の子どもたちへ真実の道徳性を培う  
—いじめ防止に向けた教育社会の検討—  
作田 澄泰  
(早稲田大学教師教育研究所)
  
- ② 9:50 教育学研究の倫理—政治的实践性と解釈学的効用  
深見 奨平  
(広島大学大学院・院生)
  
- ③ 10:10 フランクフルトにおける「Geist」とは何か  
—心理学主義からの離脱の経緯を手掛かりに—  
荒金 誠  
(兵庫教育大学大学院・院生)
  
- ④ 10:30 戦後ヴェーニガー教育学における教育的関係論の意義  
田中 崇教  
(広島文教女子大学)
  
- 【休憩10分】
  
- ⑤ 11:00 N. ルーマンの社会システム論に基づく教師—児童生徒  
関係の成立過程に関する分析  
—教師側での責任意識の確立はいかにして可能となる  
か—  
鈴木 篤  
(大分大学)
  
- ⑥ 11:20 持続的な学びにおけるunlearn 概念の意義に関する考察  
安喰 勇平  
(茨城キリスト教大学)
  
- ⑦ 11:40 芸術教育の成果観とその特質  
前田 舞子  
(鳥取短期大学)
  
- ⑧ 12:00 教室を多声的な場にする授業の研究  
—対話を促す教材／学習材としての古典に着目して—  
岡本 絵里  
(兵庫教育大学大学院・院生)

## A-6 「日本教育史 I」部会

会場：人402教室 9：30～12：20

司会：梶井 一暁  
(岡山大学)

- ① 9:30 鞠生(華浦)幼稚園教育実践内容の「会集」に関する研究  
—大正11年度の保育日誌を中心に—
- 三吉 愛子  
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 吉田松陰における「国家」の存在意義  
—神話・国体・君主・施政認識を中心として—
- 川口 雅昭  
(人間環境大学)
- ③ 10:10 培養舎の教育活動
- 鈴木 理恵  
(広島大学)
- ④ 10:30 欧米の美術館収蔵品を通して再発見する幕末・明治・大正期のキモノのちから
- 柴 静子  
(放送大学広島学習センター客員教授)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 明治中期修身科における作法の指導
- 井上 快  
(広島大学大学院・院生)  
鈴木 理恵  
(広島大学)
- ⑥ 11:20 (東京)新報社発刊雑誌に関する研究  
—『少女号』・『少女文芸』を中心に—
- 田中 卓也  
(共栄大学)
- ⑦ 11:40 地方における戦後小学校理科教育改革の展開過程
- 柴 一実  
(広島大学名誉教授)
- 12:00 【総括討議】

## A-7「教育方法Ⅰ」部会

会場：人404教室 9：30～12：20

司会：山岸 知幸  
(香川大学)

- ① 9:30 パウロ・フレイレの「参加」概念に関する一考察  
佐藤 雄一郎  
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 ドイツにおけるインクルーシブ教育のカリキュラムの検討  
○ 吉田 茂孝  
(大阪教育大学)  
○ 樋口 裕介  
(福岡教育大学)
- ③ 10:30 プログラミング教育への構造学習法の導入の提案  
島田 伸夫  
(岡山商科大学)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 「子どもの権利」を踏まえた教育方法のあり方—ヤヌシュ・コルチャックの「尊敬の教育学 (Pädagogik der Achtung)」を手がかりに—  
松浦 明日香  
(広島大学大学院・院生)
- ⑤ 11:20 低学年授業における概念形成に関する研究  
廣中 眞由美  
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:40 大学初修第二外国語中国語の発音学習を通して男女学生の差異に関する研究  
劉 国彬  
(福山大学)
- ⑦ 12:00 持続可能性の三角形モデルに関する理論的考察  
卜部 匡司  
(広島市立大学)

## A-8 「生徒指導」部会

会場：人401教室 9：30～12：20

司会：作田 良三  
(松山大学)

- ① 9:30 「チーム学校」のための地域連携方法に関する一考察  
—台湾・台北市における教育・福祉・司法領域の支援  
活動事例に着目して—
- 都島 梨紗  
(東亜大学)
- 川瀬 瑠美  
(広島大学大学院・院生)
- ② 10:10 不登校・高校中退の子どもに対する教師の処遇実践に  
関する事例研究 (2)
- ※本発表は、本学会の「課題研究」助成対象である。  
[課題研究名：「不登校・高校中退の子どもに対する教師の処遇実  
践に関する事例研究」]
- 原田 拓馬  
(山口大学大学院・研究員)
- 藤村 晃成  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ③ 11:00 生徒の規範の醸成を図るいじめ予防プログラムの開発  
—PBISの考え方を活用した取り組みを目指して—
- 下野 勝滉  
(愛媛大学大学院・院生)
- ④ 11:20 不登校支援研究の動向と課題
- 藤村 晃成  
(広島大学大学院・院生)
- ⑤ 11:40 地域のスクールサポート体制を前提とした生徒指導・  
教育相談の学校評価モデルの開発
- 石田 美清  
(埼玉県立大学)

12:00 【総括討議】



## A-9「学校経営Ⅰ」部会

会場：ソ102教室 9：30～12：00

司会：織田 泰幸  
(三重大学)

- ① 9:30 学校の組織的教育改善力向上に関する研究 松岡 徹  
(岡山大学大学院・院生)
- ② 9:50 N. フォスケットの教育マーケティング論に関する考察 梶山 ちひろ  
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 学校の組織づくりのためのコミュニケーションに関する一考察(2) 曾余田 順子
- ④ 10:30 「学びのコミュニティ」の生成による人材育成に関する一考察 藤田 佐智子  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 学校マネジメントの力量を形成するアクティブ・ラーニングとしてのアクション・リサーチに関する考察(2) ○曾余田 浩史  
(広島大学)  
○梶山 ちひろ  
(広島大学大学院・院生)  
○藤井 智子  
(広島大学大学院・院生)  
○長沼 正義  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

## A-10 「教師教育 I」 部会

会場：ソ103教室 9：30～12：00

司会：山口 健二  
(岡山大学)

- ① 9:30 教職課程履修学生の「学習指導技量」評価のための  
ルーブリック開発研究  
—10の評定項目を基にした作成試案—  
三山 緑  
(広島経済大学)
- ② 9:50 「学び続ける教員」の育成に関する一考察  
—育成を阻害する要因分析を通して—  
○ 沖野 清治  
(広島大学)  
○ 佐々木 哲夫  
(広島大学)  
○ 西本 正頼  
(広島大学)  
○ 大里 剛  
(広島大学)
- ③ 10:30 1950年代の教員養成課程における教育学学修の変容  
—東北大学教育学部学生の教職科目履修分析から—  
久恒 拓也  
(広島大学)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 教師教育カリキュラムに関するライフストーリー・ア  
プローチ  
—教育実習の「振り返り」と新任校における学びの関  
係を追って—  
○ 八木 秀文  
(安田女子大学)  
○ 滝浪 常雄  
(名古屋学院大学)  
○ 藤原 逸樹  
(安田女子大学)
- 11:40 【総括討議】

## A-11 「世界の音楽教育」部会

会場：ソ104教室 9：30～12：20

司会：別府 祐子  
(倉敷市立短期大学)

- ① 9:30 カタルーニャ州の初等音楽科教育の変遷  
フェラン ガリシア  
ジュゼプ  
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 モンテッソーリ・メソッドの音楽領域における「聴く」活動の特徴  
—J. K. Millerの博士論文の検討を通して—  
藤尾 かの子  
(エリザベト音楽大学)
- ③ 10:10 中国の「音楽課程標準」(2011年)と日本の「学習指導要領 音楽編」(2017年)の比較研究  
アルサラン  
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 1994年以降の米国における多文化音楽教育の認識に関する一考察  
峯 恭子  
(大阪大谷大学)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 ダルクローズ国際免許・ライセンス取得者である高倉弘光教諭の音楽教育観  
宇城 孝規  
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 ドイツの音楽科教師の授業構成  
伊藤 真  
(広島大学)
- ⑦ 11:40 近代日本のキリスト教系幼稚園における音楽活動  
井本 美穂  
(岡山理科大学)
- 12:00 【総括討議】

## A-12 「音楽教育 I」 部会

会場：ソ101教室 9：30～12：00

司会：河邊 昭子  
(兵庫教育大学)

- ① 9:30 乳児の情動調整場面におけるわらべうた  
本岡 美保子  
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 コダーイ・システム実践者の幼小接続における教育観に関する研究  
—佐賀コダーイ芸術教育研究会の実践に着目して—  
富永 素子  
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 児童の歌唱力と話し声および歌声のピッチとの関係  
○大西 潤一  
(元 鈴峯女子短期大学)  
緒方 満  
(比治山大学)  
能見 義史  
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 小学校における音楽科教育の課題と発展に関する一考察  
濱田 隆紀  
(広島文化学園大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 初級指導におけるフルート教本に関する研究  
明本 遥  
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 幼児期における感性を育む音楽聴取教育の研究  
井下 べに  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

## A-13 「教師」部会

会場：ソ201教室 9：30～12：20

司会：尾場 友和  
(大阪商業大学)

- ① 9:30 教員免許更新制に教員は何を求めるのか？
- 伊勢本 大 (愛媛大学)
  - 山田 浩之 (広島大学)
  - 周 正 (広島大学大学院・院生)
- ② 10:10 戦後日本における教師像の系譜
- 周 正 (広島大学大学院・院生)
- ③ 10:30 早期退職した教員のライフストーリー
- 山田 浩之 (広島大学)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 「エビデンスに基づく教育」に対する教師の応答のあり方
- 杉田 浩崇 (愛媛大学)
  - 熊井 将太 (山口大学)
- ⑤ 11:40 中国の小・中学校における女性教員の現状と課題
- 付 宇倩 (広島大学大学院・院生)
- 12:00 【総括討議】

## A-14「初等教育」部会

会場：人405教室 9：30～12：00

司会：宮里 智恵  
(広島大学)

- ① 9:30 中国における小学校の教員採用試験に関する研究  
—江西省の教員募集要項の分析を中心に—  
李 思燃  
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 私語の発生に影響する学校要因の検討  
島田 博司  
(甲南女子大学)
- ③ 10:10 学力と向学校性に関するパネルデータ分析  
須田 康之  
(兵庫教育大学)
- ④ 10:30 中国における義務教育の財政制度の歴史変遷に関する  
—考察—  
李 憶南  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 学校と家庭間「行き来」の観点からみた困難な家庭状  
況にある小学生の実態  
○ 笹倉 千佳弘  
(就実短期大学)  
井上 寿美  
(大阪大谷大学)
- ⑥ 11:20 小学校における指導方法の実態に関する研究  
片岡 倫崇  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

## A-15 「中国の教育」部会

会場：ソ202教室 9：30～12：00

司会：費 駟闖  
(瀋陽大学)

- ① 9:30 教育課程化過程における少数民族文化の取舍選択に関する一考察  
—トン族の「民族文化の教室入り」を事例に—
- 金 龍哲  
(神奈川県立保健福祉大学)
- ② 9:50 中国における個人ピアノ教室の課題に関する一考察
- 王 盛  
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 Experiences of Chinese Students in Higher Normal Schools in Pre-war Japan
- 楊 駒  
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 中国における高等教育機会の省内格差の現状と課題
- 張 慶怡  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 中国における小・中・高等学校教員評価制度に関する研究  
—「小・中・高等学校における教員職務称号制度の改革を深化することに関する指導意見」を中心に—
- 王 静  
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 中国における初等中等教員資格定期登録制度に関する研究  
—制度展開に関する公文書の分析を中心に—
- 陳 蕭妮  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

大会第一日 11月25日(土)

## 公開シンポジウム

会場：人文館302教室  
13：30～16：30

# 社会保障と教育の接続をめぐって

### 【シンポジスト】

倉石 一郎 (京都大学)

生活・生存保障と教育のむすび直し・再論—公私融合の現実はどう立ち向かうか

仁平 典宏 (東京大学)

<教育>の論理・<無為>の論理—生政治の変容の中で

濱本 行治 (広島市中学校・広島大学大学院)

<教育>の現場から—中学校における教育と社会保障の境界

### 【指定討論者】

三時 眞貴子 (広島大学)

<教育>の拡散と生存保障—イギリス教育史の立場から

### 【企画・司会】

中村 勝美 (広島女学院大学)

大橋 隆広 (広島女学院大学)

### 【趣旨】

今日、子どもの貧困問題や福祉制度の脆弱化を背景として、教育を社会保障の視点から意味づけようとする議論が注目されている。教育を「人生前半の社会保障」ととらえ、就学前教育や高等教育への公的支出を増大させる、あるいはワークフェアと呼ばれる、失業給付や社会扶助の条件として教育や訓練を通じ雇用可能性を高める政策が国際的に注目を集め、日本にも少なからぬ影響を与えている。しかしながら、社会保障の論理と教育とは、つねに順接的にむすびつくものではなく、教育の論理が脆弱性をもつ子どもや若者に対する社会的排除を深刻化させる事態への懸念が示されている。

本シンポジウムでは、教育と社会保障について、それぞれ両者の関係を切断する立場、むすび直しを模索する立場から、また、学校現場で学力不振や不登校の問題に対応してきた現職教員の立場から発言いただき、教育福祉論の可能性を探究する。

なお、本シンポジウムは、公開シンポジウムとして開催されるものである。

主催：中国四国教育学会

共催：日本教育学会（中国地区の地区研究活動）

後援：広島県教育委員会・広島市教育委員会



# 大会 第二日

## B-1 「幼児教育Ⅱ」部会

会場：人201教室 9：30～12：00

司会：岡花 祈一郎  
(福岡女学院大学)

- ① 9:30 保育内容の指導法に関する実践的研究  
—情報機器を活用した取り組み—
- 柏 まり  
(岡山県立大学)  
佐藤 和順  
(岡山県立大学)
- ② 9:50 保育者のワーク・ライフ・バランスとバーンアウトの  
関連性に関する研究
- 岩切 裕美  
(岡山県立大学大学院・院生)  
佐藤 和順  
(岡山県立大学)  
柏 まり  
(岡山県立大学)
- ③ 10:10 中学生と乳幼児とのふれあい体験学習における乳幼児  
の体験  
—乳幼児は中学生から何を学ぶのか—
- 廣兼 慎  
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 家なき幼稚園の保育内容における表現活動  
—大正期芸術教育運動を背景として—
- 和田 真由美  
(姫路大学)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 幼稚園教師による歌唱指導に関する研究
- 水崎 誠  
(東京学芸大学)
- ⑥ 11:20 自由保育を可能にした文化的規範性  
—『これからの保育』(1978)における議論の検討から—
- 武内 裕明  
(弘前大学)
- 11:40 【総括討議】

## B-2「西洋の教育」部会

会場：人202教室 9：50～12：00

司会：中村 直人  
(高知工科大学)

- ① 9:50 英国シティズンシップ教育黎明期における論争問題教育  
— ‘Controversial Issues in the Curriculum’ を手がかりに— 吉川 友則  
(広島大学大学院・院生)
- ② 10:10 20世紀初頭ロンドンにおける親への啓蒙的事業の分析  
— 児童ケア委員会の “Health Hints for Parents (1908)” を手がかりに— 増田 圭佑  
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:30 近代教育課程成立期における体育教授の陶冶意義に関する研究 宮本 勇一  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 ランジュヴァン・ワロン教育改革案に関する最近の研究動向 田崎 徳友  
(九州女子大学名誉教授)
- ⑤ 11:20 米国における次世代科学スタンダードの検討  
— Grade Kにおけるスタンダードの焦点化に着目して— 佐々木 大和  
(弘前大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

## B-3 「教科教育Ⅱ」部会

会場：人302教室 9：50～12：00

司会：山元 隆春  
(広島大学)

- ① 9:50 なぜ政治教育はPBLとして実践されなければならないのか  
—Project Based Governmentの単元「選挙遊説を行う」  
を手掛かりに—  
兒玉 泰輔  
(広島大学大学院・院生)
- ② 10:10 小学校における専科教員の配置  
藤井 宣彰  
(県立広島大学)
- ③ 10:30 文学の授業における理解の成立  
長岡 賢  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 「聞くこと」の学習指導の研究  
—小学校入門期を中心に—  
藤川 和也  
(鹿児島女子短期大学)
- ⑤ 11:20 読みの深さを評価するルーブリックの開発と一般化可能  
性理論による信頼性の検討  
—「サッカーにおける『資本主義の精神』」授業実践  
から—  
神部 智  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

## B-4 「高等教育」部会

会場：人301教室 9：30～12：00

司会：藤村 正司  
(広島大学)

- ① 9:30 音楽の実践に必要な能力に関する研究  
—「〈音楽家の耳〉トレーニング」システムを導入した授業例—  
岡田 陽子  
(エリザベト音楽大学)
- ② 9:50 工学部における主体的学習  
—学習内容の自己決定に着目した『工学教育』掲載記事の分析—  
藤埴 智一  
(宮崎大学)
- ③ 10:10 障害学生支援における学生の「学び」に関する考察  
正木 遥香  
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 なぜ、ボーダーフリー大学はアクティブラーニングを必要とするのか？  
宇田 響  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 主体的学習者の育成に向けた授業開発  
—専修学校における初年次教育を中心として—  
松尾 朗  
(山口大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 戦後日本における大学像の変化  
山本 優  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

## B-5「東洋教育史」部会

会場：人403教室 9：50～12：00

司会：金 龍哲  
(神奈川県立保健福祉大学)

- ① 9:50 清末における軍国民教育思想の研究史と課題  
孫 瑛鞠  
(岡山大学大学院・院生)
- ② 10:10 清末、中国女子教育における「良妻賢母」観  
—研究史の回顧を通じて—  
孫 長亮  
(岡山大学大学院・院生)
- ③ 10:30 民国前期における国語科教授法の展開  
班 婷  
(広島大学)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 民国期の伝王応麟撰『三字経』の改訂  
—ナショナル・アイデンティティ模索の一端—  
向野 正弘  
(NPO法人向野堅一記念館)
- ⑤ 11:20 民国時期における北京市中等教員の社会階層  
朱 玥  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

## B-6「日本教育史Ⅱ」部会

会場：人404教室 9：30～12：20

司会：福田 修  
(山口大学)

- ① 9:30 東京女子師範学校における校歌の成立と『尋常小学唱歌』との関係 須田 珠生  
(京都大学大学院・院生/日本学術振興会特別研究員)
- ② 9:50 東京府立第一中学校卒業生の進路について 烏田 直哉  
(東海学園大学)
- ③ 10:10 新潟県関係資料にみる第四高等学校 小宮山 道夫  
(広島大学)
- ④ 10:30 明治期師範学校・小学校における授業批評会 白石 崇人  
(広島文教女子大学)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 大正期における檜高憲三の体操教育  
—広島県師範学校附属小学校訓導時代の「研究ノート」を中心に— 鈴木 和正  
(常葉大学)
- ⑥ 11:20 大正期から昭和期戦前の唱歌遊戯に関する研究 戸江 真以  
(広島大学大学院・院生)
- ⑦ 11:40 戦後教員文化形成と教職専門職論との影響関係に関する考察 小川 英夫  
(広島大学大学院・院生)
- 12:00 【総括討議】

## B-7「教育方法Ⅱ」部会

会場：人401教室 9：30～12：20

司会：尾島 卓  
(岡山大学)

- ① 9:30 協働を必然とする音楽づくりの考察  
—ふれあいドラムを活用して— 森保 尚美  
(広島女学院大学)
- ② 9:50 動機づけ調整方略を活用した実践的研究  
—小学校道徳科への自己調整学習過程の導入— 武藤 寛弥  
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 「特別の教科 道徳」小学校教科書の教授学的分析
- 松尾 奈美  
(広島大学大学院・院生)
  - 佐藤 雄一郎  
(広島大学大学院・院生)
  - 松浦 明日香  
(広島大学大学院・院生)
  - 山根 万里佳  
(広島大学大学院・院生)
  - 深澤 広明  
(広島大学)

### 【休憩10分】

- ④ 11:00 専門高校のカリキュラムの幅に関する一考察 福石 賢一  
(高知工科大学)
- ⑤ 11:20 学校教育における社会的コンピテンシー(Soziale Kompetenz)の育成に関する批判的検討 早川 知宏  
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:40 教育方法としての「見る」と「書く」ことの結合に関する一考察 中野 和光  
(美作大学)
- ⑦ 12:00 A. グルーシュカの授業研究に関する一考察  
—授業におけるプレゼンテーションをめぐって— 松田 充  
(広島大学大学院・院生／  
日本学術振興会特別研究員)



## B-8 「社会科教育」部会

会場：人402教室 9：50～12：00

司会：永田 忠道  
(広島大学)

- ① 9:50 “社会を変える” 中学校歴史授業の構成  
—CITIZENSHIP THROUGH HISTORY FOR KS3 の分析を通して—  
茂松 郁弥  
(広島大学大学院・院生)
- ② 10:10 中国伝統思想を視点とした高校日本史教材開発の研究  
—足利義満の宋明理学思想が込められた北山山荘(金閣寺) 単元構成を事例にして—  
牛 立保  
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:30 カンボジアの初等社会科における音楽を通じた自文化教育の可能性に関する一考察  
山本 千恵  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 歴史教育で社会科学を学ぶ意義は何か？  
—NCEEの主題史教材：United States History Focus on Economicsの分析による事例研究—  
山本 稜  
(広島大学大学院・院生)
- ⑤ 11:20 児童の意思決定力を育成する教育プログラム  
—社会科と道徳科の関連を通して—  
濱田 直美  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

## B-9 「学校経営Ⅱ」部会

会場：ソ102教室 9：50～12：00

司会：福本 昌之  
(大分大学)

- ① 9:50 学級経営における教師の児童との関わり方に関する研究  
—教師のストラテジーを視点として— 酒井 愛奈  
(愛媛大学大学院・院生)
- ② 10:10 「地域とともにある学校」づくりに関する一考察 森 正之  
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:30 養護教諭の専門性と保健室経営 貞森 節子  
(元 広島都市学園大学)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 ダブル・ループ学習の視点に基づくカリキュラム・マ  
ネジメントの実践的研究 西 巖弘  
(広島大学大学院・院生)
- ⑤ 11:20 「課題発見・解決学習」を軸とした「創造型」カリ  
キュラムマネジメントの開発的研究 横山 寿一  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

## B-10「教師教育Ⅱ」部会

会場：ソ103教室 9：30～12：00

司会：三山 緑  
(広島経済大学)

- ① 9:30 保育者養成に関わる教員の専門性獲得の要因について  
津川 典子  
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 教師教育における経営的思考の開発に関する研究(1)  
○ 森下 真実  
(広島都市学園大学)  
○ 山本 遼  
(東九州短期大学)  
○ 田中 直哉  
(石川県立松任高等学校)
- ③ 10:30 実践コミュニティ論に基づく教師の専門職学習に関する一考察  
藤井 智子  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 学校の危機管理における“即興”に関する考察  
—K. E. ワイクの多義性のマネジメント論に基づいて—  
田中 直哉  
(石川県立松任高等学校)
- ⑤ 11:20 教師教育におけるケースメソッドの効果  
○ 塩津 英樹  
(島根大学)  
熊丸 真太郎  
(島根大学)  
丸橋 静香  
(島根大学)
- 11:40 【総括討議】

## B-11 「道徳教育」 部会

会場：ソ104教室 9：30～12：00

司会：渡邊 満  
(広島文化学園大学)

- ① 9:30 インクルーシブ保育の現状と課題 遠藤 文子  
(聖カタリナ大学短期大学部)
- ② 9:50 新幼稚園教育要領における「道徳性・規範意識」に関する考察 都田 修兵  
(岡山短期大学)
- ③ 10:10 学級における道徳的雰囲気醸成に資する道徳授業の開発研究 古庄 紘樹  
—「思いやり」の内容項目を中心に— (広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 児童が考え、議論する道徳授業の開発 中尾 優貴  
(島根大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 現代の家族形態を踏まえた道徳授業の開発 泉 沙希  
—教材『おおきな木』を用いて— (広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 反省の道徳教育 中野 桂子  
—ある事象の現象学的考察— (福岡医健専門学校・非常勤講師)
- 11:40 【総括討議】

## B-12 「音楽教育Ⅱ」部会

会場：ソ101教室 9：30～12：20

司会：伊藤 真  
(広島大学)

- ① 9:30 我が国の伝統音楽の学習に関する研究  
大井 絃  
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 保育者・教員養成課程におけるピアノ学習の動機づけに関する研究  
○ 別府 祐子  
(倉敷市立短期大学)  
大野内 愛  
(広島文教女子大学)
- ③ 10:10 再生刺激法による演奏者の思考の推移  
平山 裕基  
(大阪健康福祉短期大学)
- ④ 10:30 音楽と舞踊の関わりについて  
藤井 菜摘  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 創造的音楽学習におけるICT利用に関する研究  
松原 保子  
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 音楽科授業に対する教職大学院生の課題意識(2)  
—音楽活動を促す働きかけに着目して—  
河邊 昭子  
(兵庫教育大学)
- ⑦ 11:40 音楽理解に関する音楽美学的考察  
辻 勇介  
(広島大学大学院・院生)
- ⑧ 12:00 「音楽づくり」の教材に関する一考察  
岡崎 藍  
(広島大学大学院・院生)

## B-13 「教育と社会」部会

会場：ソ201教室 9：30～12：20

司会：中田 周作  
(中国学園大学)

- ① 9:30 クラスルームの社会学は生徒集団をいかに語ってきたか  
梅田 崇広  
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 C. ムフ闘技民主主義における「情念」の政治思想的特徴  
植田 翔  
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 児童養護施設の自立支援における葛藤  
—子どもへのケアと教育的かかわりに着目して—  
山口 季音  
(至誠館大学)
- ④ 10:30 中国におけるいじめへの対処行動の実態  
陳 林奇  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 フェミニズム研究におけるI. ヤングの位置とその教育学的意義  
大中 のぞみ  
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 現代の商業高校における職業教育と生徒指導・進路指導  
尾場 友和  
(大阪商業大学)
- ⑦ 11:40 大学生の逸脱と社会的絆に関する研究  
吉永 寛康  
(広島大学大学院・院生)
- 12:00 【総括討議】

## B-14 「比較国際教育」部会

会場：ソ202教室 9：50～12：00

司会：中矢 礼美  
(広島大学)

- ① 9:50 ナイジェリアの体育教員養成に関する研究
- 牧内 健将  
(広島大学大学院・院生)  
齊藤 一彦  
(広島大学)  
岩田 昌太郎  
(広島大学)  
八並 孝行  
(広島大学大学院・院生)
- ② 10:10 育成すべき資質・能力を踏まえた音楽カリキュラムの諸相に関する研究  
—日本の「学習指導要領」とアメリカ合衆国の「全米コア音楽標準」の比較を通して—
- 齋藤 紘希  
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:30 韓国の高等学校における国際バカロレアプログラムの導入
- 姜 姫銀  
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 日本と上海の国語教科書教材に関する比較研究  
—文学作品を中心に—
- 金 琦秀  
(広島大学大学院・院生)
- ⑤ 11:20 台湾における不登校研究の歴史的展開と類型
- 川瀬 瑠美  
(広島大学大学院・院生)
- 11:40 【総括討議】

ラウンドテーブル〔1〕

会場：ソ101教室  
13：30～15：30

「エビデンスに基づく教育実践・政策」と教育学研究の行方  
—エビデンスを「つくる」「つたえる」「つかう」に着目して—

【企画者】

佐藤 仁（福岡大学）

【司会】

熊井 将太（山口大学）・杉田 浩崇（愛媛大学）

【提案者および提案題目】

長谷川 祐介（大分大学）	エビデンスを「つくる」：教育社会学から
佐藤 仁（福岡大学）	エビデンスを「つかう」：教育政策論から
吉田 茂孝（大阪教育大学）	特別支援教育におけるエビデンスの議
岡花 祈一郎（福岡女学院大学）	幼児教育におけるエビデンスの議論

【指定討論者】

織田 泰幸（三重大学）

【企画趣旨】

「エビデンスに基づく教育実践・政策」論において、教育学研究者は教育研究や教育実践を脅かすものとしてエビデンスを位置づけ、批判的立場をとる傾向にある。しかし、多角的な議論ゆえに、何に批判の目を向けようとしているのか、何を批判しようとしているのかという全体像や各論の関係性が見えづらい。それは、論者がよって立つ学問分野・領域が異なるということも関係している。

そこで本ラウンドテーブルでは、エビデンスを「つくる」「つたえる」「つかう」という三つのプロセスに着目し、「エビデンスに基づく教育実践・政策」論の全体像を整理する。そして、「つたえる」段階での議論が手薄であることを指摘しながら、「エビデンスに基づく教育実践・政策」における教育学研究者の立ち位置について議論したい。

※なお本企画は、2017年度中国四国教育学会「課題研究」助成対象である（課題研究名：「教員養成における「エビデンス」の位置づけをめぐる学際的研究」）。



## ラウンドテーブル〔2〕

会場：ソ102教室  
13：30～15：30

# 研究×教育×社会貢献を架橋する〈場〉は 誰がどのように創るのか

### 【企画者】

黒川 麻実（広島大学大学院・院生）

### 【提案者および提案題目】

黒川 麻実（広島大学大学院・院生） 学生主体・単年度開催の研究交流事業の課題と限界：  
広島大学アカデミックコンテストの事例を踏まえて

山田 直之（広島大学大学院・院生） 国内外の先進的な研究交流事業は、誰が・どのように運用して  
いるのか？

大坂 遊（徳山大学） 研究と教育と社会貢献とを繋ぐ「核」としての学会の可能性

### 【コーディネーター】

森美 智代（福山市立大学）

### 【企画趣旨】

近年、大学が主催や後援する形で、大学院生や教員が自らの研究成果を公共の場で発信し、構成員や市民と交流する事業が国内外を問わず見られるようになった。その背景には、高等教育機関である大学が従来の役割である研究や教育に加えて、所属する地域や国家への貢献を求められる国際的な潮流がある。このような研究交流事業はいかにして企画・運営され、どのような効果をもたらさうのだろうか。そして、そこに限界や、改善の可能性はないのだろうか。本ラウンドテーブルでは上記の問題意識のもと、国内外の研究交流事業を対象に、公共性・継続性といった観点から考察を行っていく。

研究・教育・社会貢献を架橋する〈場〉を構築するためには、「誰が」運営主体となるべきか。そして、「どのような」形を目指していくべきか。フロアの会員とともに議論していきたい。

※なお本企画は、2017年度中国四国教育学会「課題研究」助成対象である（課題研究名：「大学院教育の充実に向けた中等教育・高等教育の接続に関する研究—高校生・学部生・大学院生による研究交流プラットフォームの創成を通して—」）。

ラウンドテーブル〔3〕

会場：ソ103教室  
13：30～15：30

「考え、議論する道德」を担う教師の養成・研修に  
向けた読み物資料の検討と提案

—中学校用教材「銀色のシャープペンシル」を活かした多様な授業方法の開発—

【企画者】

山口 裕毅 (環太平洋大学)  
鈴木 篤 (大分大学)

【基調提案】

渡邊 満 (広島文化学園大学)

【提案者および提案題目】

鈴木 篤 (大分大学)	社会システム理論に基づく教材の分析と授業づくり
丸橋 静香 (島根大学)	討議倫理学に基づく教材の分析と授業づくり —「適用問題」論の批判的参照をとおして—
山口 裕毅 (環太平洋大学)	徳倫理学に基づく教材の分析と授業づくり

【企画趣旨】

道德の教科化を受け、これまで道德教育が抱えてきた課題を批判的かつ建設的に乗り越えていくことが求められている。新たな道德教育の構想には、生活の中で生じる課題の解決方法を子どもたちが力を合わせて探ることができるような視座が必要となる。そのためには、具体的な問題状況を想定しながら、より妥当な価値を子どもたちが発見し、理解していくような創造的な実践が必要となるだろう。

しかし、「考え、議論する道德」を担う教師の養成・研修において扱う内容や方法については、いまだ十分な議論が行われていないのが現状である。そこで本ラウンドテーブルではこれまでに蓄積されてきた知見を踏まえて議論を行い、フロアを交えた検討を通じて今後の道德教育を展望し、より効果的に実施するための理論的な視座を探るとともに、授業方法の提案を行う。

なお、本ラウンドテーブルでは中学校用道德教材「銀色のシャープペンシル」を共通の素材として取り上げる。

※なお本企画は、2017年度中国四国教育学会「課題研究」助成対象である（課題研究名：「道德教育担当教師の養成及び研修に関する研究—教科としての道德の実施について大学はいかなる役割を果たせるか—」）。

ラウンドテーブル〔4〕

会場：ソ104教室  
13：30～15：30

教職大学院における  
「学校マネジメント」教育の課題と展望

【企画者】

曾余田 浩史（広島大学）

【司会者】

曾余田 浩史（広島大学）

【報告者および報告題目】

福本 昌之（大分大学） 実務家教員との協働をすすめる教育実践

熊丸 真太郎（島根大学） 経験の相対化を重視した教育実践

金川 舞貴子（岡山大学） 学校改善に資する教育実践

【企画趣旨】

近年、中国・四国・九州地区でも、「理論と実践の往還」を理念とする教職大学院が相次いで開設された。そのカリキュラムの中で、「学校マネジメント（学校経営）」は、学校管理職候補のみならず、すべての教職員にとって必須のものと位置づけられており、その重みを増している。しかしその一方で、「学校マネジメント」の捉え方・考え方自体が曖昧な状況にある。たとえば、学校現場では「マネジメントはPDCAである」という認識が浸透しているが、学会レベルではこれに対する批判がある。また、マネジメントと教育（授業、学級経営など）の関係をどのように捉えるかも多様である。実際、「マネジメント」の捉え方によって、その実践的力量（思考や行動様式やスキル等）形成のねらいや方法もマネジメント実践そのものも変わるであろう。

そこで、本ラウンドテーブルでは、各教職大学院における「学校マネジメント」教育の担当者がどのように「マネジメント」を捉えており、実際にどのような教育実践を行なっているのか、そして、何を課題として感じているのかを報告する。それをもとに、これからの教職大学院における「学校マネジメント」教育のあり方を探る。